



クロミラクル 取扱説明書

- ・スプレーガンやエアブラシを使わず、簡単で安全な作業で鏡面メッキが施工可能となりました。
- ・専用ウレタンスポンジや市販の柔らかいスポンジで塗り込むだけで、表面に金属粒子が綺麗に配列し、美しい鏡面メッキ被膜が形成されます。
- ・クロミラクル 1SET（主剤 5g 硬化剤 0.6g）で約 1㎡（1m×1m）の施工が可能。
- ・主剤と硬化剤の調合後密封し、約 1 ヶ月液剤の使用が可能。

◆施工に必要なもの

- ・SHOW UP クロミラクルセット
- ・SHOW UP クロミラクル専用コーティングスポンジ(※別売り)
（マジック両面テープ付き 適度な大きさにカットしてご使用ください。）
- ・SHOW UP スーパーカットコンパウンド ウォーター（下地作りが必要な場合）
- ・プラスチック製のコーキングヘラ（市販品の 10mm 幅程度のヘラ）
- ・マイクロファイバークロス 2 枚（市販品）
- ・バケツ（市販品）

① 下処理

プラスチック素材に直接施工する場合、曇りやヒケがあるとクロミラクルを施工しても輝度の低い鏡面になってしまいます。

段差やヒケがある個所は 3000 番程度のペーパーを当てフラットにし、その後スーパーカットコンパウンドウォーターのような油分の含まないコンパウンドを使用し、施工面をピカピカに磨き上げると、より鏡面度の高い仕上がりが可能です。

② 液剤の調合

クロミラクル主剤の穴あき中栓を一旦外し、主剤と硬化剤を全量混ぜあわせ よく振り攪拌します。
（硬化剤が出にくい場合、スポイトがあると便利です。）

③ 液剤の塗布

施工面の面積に最適な量をスポンジに塗布します。

1/24 スケールサイズのカーモデルに施工する場合、スポンジに 1～2 滴程度の液剤で施工可能です。

気温が高い場合、液剤が分離しメッキになりにくい場合がございます。

その際は使用前に必ず冷やしてからご使用ください。

液量が多すぎると塗りこみに時間を要し、うまくいかない場合があります。

④ クロミラクルの塗り込み

最初は力を加えずに、施工面全体に塗り広げを繰り返します。

全体に液剤がなじむまで繰り返しますが、この時点で強い力を加えてしまうと被膜がめくれ下地が見えてしまう可能性がありますのでご注意下さい。

全体的に液体が馴染んだら徐々にスポンジに力を加え擦り込み、金属の粒子を定着させます。

擦り込み完了の目安は、軽い映り込み（油分が乗っている為少し白く曇った感じにはなります。）が出てきたら完了です。

擦り込み圧力が不十分だと、後の油分を除去する作業で被膜が薄くなり、下地が見えてしまいます。

⑤ 油分除去

擦り込みが完了した施工面は、油分が浮き白く曇った状態です。

白く曇った油分を水で洗い流し取り除きます。

柔らかいスポンジやマイクロファイバークロスを使用し、しっかりと水を含ませて油分を洗い流します。

完全に油分が洗い流せたら、擦らないように水分を乾いたマイクロファイバークロスを使用し、水分を吸い取る様に拭き上げていきます。

⑥ 施工完了

油分と水分が除去出来れば完成です。

組付けなどを行う場合、丸 1 日程度乾燥させてから行ってください。

乾燥機を使用し乾燥させる場合は、時短が可能です。乾燥の具合を確認後に組付け作業を行ってください。

● 塗装と併用する場合

塗装で施工するメッキ調塗料と同様に、下地やトップコートに塗料を使用した後の施工も可能で、あらゆる素材にも対応しております。

SHOW UP 推奨塗料（下記塗料で下地を作る事をお勧めいたします）

KROME 専用 1K ベースカラーブラックマイクロボトル

KROME 専用 1K トップコートクリアー

クロームプライマークリアー

クロームプライマーブラック

注）推奨品以外のメーカー様の塗料も併用可能な場合もございますが、必ずテストをし、施工してください。

注）クロミラクル施工後、1 日以上乾燥させたのち塗装作業を行ってください。

● 補修方法

被膜が薄くなった部分や、組付けの際の傷は補修可能です。

通常施工に塗布する量よりも、少量の液剤を塗布し、通常の施工方法と同様に仕上げてください。

注）液剤を多く塗布しすぎると周りの被膜が解け、補修施工範囲が広がってしまいます。

● メッキ被膜を除去・洗浄

メッキ被膜を除去する場合、コンパウンド、エタノール、IPA（アルコール）で除去可能です。

また、施工後のマイクロファイバークロスや専用スポンジはアルカリ洗剤・アルカリ電解水・セスキ炭酸ソーダ・重曹などで浸け置き後、水洗いし乾燥させて頂ければ再使用可能です。

注意事項

- ・ SHOW UP クロミラクル専用コーティングスポンジ
（※別売り 適度な大きさにカットしてご使用ください。）を使用し施工して下さい。
- ・ 市販スポンジの硬さや目の粗さによっては施工が出来ない場合があります。
- ・ 高湿度での施工は避けて下さい。
気温が高い場合、液剤が分離しメッキになりにくい場合がございます。
その際は使用前に必ず冷やしてからご使用ください。
- ・ 油分・汚れ・傷などはしっかりと除去してから施工して下さい。
- ・ 保護具（保護メガネ・手袋・マスク等）を着用し施工して下さい。



株式会社シグナル SHOW UP Div.

〒562-0024 大阪府箕面市粟生新家 2-6-8

Tel. 072-727-7123 Email.info@showup.jp